

受験前に現役海上自衛官との交流会を開催

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤 一 空尉）は8月30日（金）同事務所にて自衛隊志願者と現役の海上自衛官との交流会を行い、近隣地域から志願者7名が集まった。

当日は、井坂広報官の元職場である海上自衛隊厚木基地の隊員2名が、勤務終了後に事務所へ足を運んでくれた。パイロットスーツで志願者たちの前に登場した杉野3海尉は、志願者から「おおっ！」と歓声を浴びた。日々の勤務で航空機に携わっている松岡2海尉（パイロット）は、「普段の勤務内容や今までの訓練経験、海上自衛隊を選んだ理由などを紹介してくれた。ハワイで米軍と行った訓練の話になると、志願者たちは「こんな訓練もあるのですね」と興味を示していた。海上自衛隊の航空部隊について初めて話を聞く志願者が多く、熱心にメモを取りながら隊員の話に聞き入っている様子が印象的だった。

交流会終了後、志願者から「お二人の後輩になれるよう試験を頑張りたい」「海上自衛隊の航空部隊に興味を持ちました」と嬉しい言葉があった。

市ヶ尾募集案内所は「現役隊員と交流できる機会は、志願者たちのモチベーションアップにつながった。引き続き志願者たちをフォローし、一人でも多く入隊へと導いていきたい」としている。



グループに分かれ交流：質問が積極的に飛んだ



松岡2海尉（右）と杉野3海尉（左）の話を真剣に聞き入る志願者たち



横浜市内の就転職フェアで自衛官募集ブース出展



自衛隊ブースで広報官の説明に聞き入る来場者

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原 一 陸尉）は、9月16日（月・祝日）パシフィコ横浜（横浜市）で実施された就職者対象企業説明会（はたらいく）に募集ブースを出展し、自衛隊制度説明を行った。当日は就職及び転職を考えている多くの来場者が自衛隊ブースを訪れて、広報官の説明に聞き入っていた。ブースを遠巻きに見ている遠慮気味の来場者もいたが、広報官の案内と共に概要説明から仕事の魅力などを募集資料や写真などで紹介していくうちに、徐々に興味を示してきて「訓練が厳しそうですね」「外に住める条件を教えてください」など、訓練や隊内生活など具体的な質問が出て、広報官が準備した資料や自分たちの経験を基に丁寧に答えていた。特に自衛官候補生の年齢制限引き上げに関して興味を示す対象者が多くみられた。また来場者の中には、広報官の説明に感動し、自衛官候補生をすぐ志願したいという若者も出てくるなど、終始ブースは満員の状態で広報官も忙しく対応し、本説明会は成功裏に終了した。

横浜中央募集案内所は、「今後もこのような説明会に積極的に参加し、自衛隊の魅力をアピールし、志願者の獲得に努め、年度目標達成に貢献したい」としている。